

有機作物栽培支援委託事業報告書

天理市役所 総合政策課 御中

株式会社SOFIX
代表取締役 久保 幹

標記委託事業について、以下のとおり活動内容等を報告します。

本委託事業	
事業名	有機作物栽培支援委託事業報告書
業務実施期間	令和5年5月1日 から 令和6年2月29日
委託元	天理市役所
委託金額	246,708円
事業内容・成果	<p>中山間地域のモデルとなるオーガニックビレッジの実現に向け、圃場の土壌診断（SOFIX）及び堆肥診断（MQI）を活用した有機農業の導入に挑戦した（圃場実証）。</p> <p>（1）前年度に行った土壌診断（SOFIX）及び堆肥診断（MQI）に基づき、施肥設計案を（別添）を提案した。</p> <p>①実証圃場の施肥設計（別添） ②天理市近郊の堆肥（牛ふん堆肥）診断（別添）</p> <p>まず善本的に指摘できることは、対象圃場は全般的に非常に秀逸な土壌が目立った（特A圃場や肥沃度の高い堆肥あり）。</p> <p>本事業の狙いとして特に土壌面では、対象圃場の土壌1gあたり6億匹以上の細菌が存在する土壌にすること、である。併せてそのような土壌において、化学肥料を低減を行うことであった。このためには土壌づくりとともに、作物ごとの養分収支（肥料投入量－作物吸収量）も考慮することが重要であり、今回これについて農家と議論できた。化学肥料と同等の収量が栽培でき（大和ルージュ）、成果としては、地元産の秀逸な堆肥と追肥のタイミングを適切に計って、無化学肥料のとうもろこし栽培ができた。しかし一方で、防除対応に苦慮し、「可販収量の確保」はできなかった。有機JAS登録のBT剤使用も考えられるが、次年度以降の課題である。</p> <p>（2）土壌診断（SOFIX）に基づいた作りやすい作物としては、今回、MQI診断した堆肥等の肥沃度が良かったことから、土壌との表面積が多い根菜類が挙げられる（まるみ大根）。ともかく、天理市内には歴史のある地元種苗会社が地元であり、ここと連携した品目選定と栽培管理が重要と考えられる。</p>
その他（課題等）	<p>温暖化に伴う産地の北上化により、農業資源の豊富な中山間地域こそ有機農業の本丸になるべきである。天理市内の高原地区のような標高500m以上の中山間地域には病害虫の生息数が少なく、日較差等の農業生産上の優位点が確認される。天理市内には良質な堆肥もあり、市内には歴史のある種苗会社も存在するため、農家普及性の高い有機農業が展開できると強く考えられる。土づくりは年度仕事ではなく、次年度も今年の実証品目である「大和ルージュ」の栽培を防除面の検討も加えながら継続すべきと考えられる。</p>
添付資料	別添のとおり